



早期の建て替えを



松本 一二美 議員

老朽化した西古泉水源地の整備計画は

財政収支の見込みを立てた上で事業着手したい

問

建設後50年が経過しようとしている西古泉水源地は、町民の半数近くが生活する松前地区の大事な水源地だ。大災害発生を心配する昨今、命の水を確保する重要なこの施設の整備計画の考えは。

上下水道課長

平成24年度から水の販売価格が原価割れし、赤字経営の状態だ。整備には多額の費用が要するため、去年3月に料金改定を提案したが、半分しか改定できなかったため事業着手は難しく、延期し

ている。

できるだけ早い整備が必要であり、今後の料金改定も含めた財政収支の見込みを立てた上で事業着手したい。

教育の町・学校教育格差の見解は

整備年次計画を立て、テレビの導入から努める

問

松前町は「教育の町」宣言をしてから50年になる。具体的に何を持って「教育の町」と言うのか。

教育長

厳しい財政状況の中、テレビ、タブレットなどの機器の導入がはかばかしているのは事実だ。

学校教育現場の設備格差をどのように考えているのか。授業で使用するテレビなど、現

豊かな学びができるよ

うに、学校現場からの要望をもとに整備年次計画を立て、中でもテレビの導入から努めていく。教育大綱や基本方針を、義農精神を含めて松前町の特色が出るよう作成する。